

わかりやすい

読みやすい

引きやすい

経済

1000辞典

用語

わかりやすい

読みやすい

引きやすい

経済用語

1000辞典

古川哲夫・青柳巨彦 著

日本実業出版社

古川 哲夫 (ふるかわ てつお)

昭和12年横浜生まれ。昭和36年一橋大学経済学部卒，同年野村証券入社，調査部配属。昭和40年野村総合研究所設立と同時に同所へ出向。現在，同研究所主任研究員，早稲田大学講師として活躍，専門は経済予測，計量経済学。著書に「入門経済記事の読み方」「続入門経済記事の読み方」(以上，日本実業出版社)，「日本経済の強さと弱さの研究」(東洋経済新報社)などがある。

青柳 亘彦 (あおやぎ のぶひこ)

昭和15年東京都生まれ。昭和40年慶応義塾大学経済学部卒，同年野村総合研究所入社。昭和44年経済企画庁調査局内国調査課へ出向，同47年野村総合研究所へ復帰。現在，同研究所主任研究員。専門はマクロ経済，産業構造論。

わかりやすい・
読みやすい・引きやすい
経済用語1000辞典

定価 1300円

昭和57年9月30日 初版発行

著者 古川 哲夫
青柳 亘彦
発行者 中村 進
発行所 株式会社 日本実業出版社

書籍出版部 東京都千代田区三崎町3の5の3 ☎101

☎代表03(264)3781 振替 東京 7-25349

本社 大阪市北区西天満6の8の1 ☎530

☎代表 06 (362) 6141

印刷所 清和印刷株式会社
製本所 若林製本工場

D6800 落丁，乱丁本はお取替え致します

©T.Furukawa & N.Aoyagi 1982. Printed in JAPAN

ISBN4-534-00787-6 C 0033 ¥1300E

はじめに

新聞やテレビのニュースを見ていますと、毎日のように、いろいろな経済問題が話題になっています。もちろん、経済専門誌や新聞の経済欄で経済問題が取上げられるのは当然ですが、最近では、以前に比べて、各種の報道の中で経済問題のウエートがかなり高くなっているように思われます。

例えば、政治の中で、経済問題の比重が著しく高まっているのが、その一つです。国会の審議でも、以前は、外交問題や社会問題など、経済以外の問題が主流を占めていたのに比べて、最近では、経済問題に多くの時間が割かれています。また、選挙の際にも、失業やインフレなど、経済問題をめぐって、与野党の論戦が展開されることが多くなっています。これは、私たちの生活に経済問題が大きな影響を与えるようになっていくからにはかなりません。

このように、経済問題の報道が多くなっているにもかかわらず、経済問題の記事やニュースはわかりにくいというのが、多くの人の偽らざる感想ではないでしょうか。しかし、これは、ある意味で、当然のことのようにも思われます。

政治問題や社会問題の報道は、必ずしも、政治学や社会学の知識がなくとも、理解できることが多いはずですが、それは、殆どが実際に起こった事実の報道であって、いわゆる常識の範囲内でわかる言葉で説明されているからです（もちろん、専門的に分析する場合は別であるのは当然です）。

これに対して、経済問題は抽象的な専門用語を抜きにして語ることは不可能であり、したがって、

経済問題の報道は、ともすると、わかりにくいということになるのだと思います。ですから、経済問題を理解するためには、必要最低限の専門用語を知っていることが第一条件である、といえるように思われます。

ところで、このような要求に応える手頃な辞典というと、必ずしも多くありません。このような要求に応える辞典は、第一に、経済学の専門知識がなくても理解できる、わかりやすい辞典であること。第二に、経済の広い分野を網羅した辞典であることが必要です。

この辞典は、そのようなニーズに応えるために編集された辞典です。そのため、説明は可能な限り平易にわかりやすくすること、また、できるだけ広い分野の用語を取上げることの二点に、特に留意しました。見出し語で約一、〇〇〇語、収容語全体では約一、四〇〇語になります。

さらに、この辞典は、「引く」辞典であると同時に、「読む」辞典でもあるように、用語の順を追って経済の理解を深めることができるよう、全体の構成や用語の配列に工夫しました。ビジネスマン、学生諸君のみならず、できるだけ多くの人のお役に立てば望外の幸いです。

なお、本書の執筆にあたっては、筆者が所属する野村総合研究所の先輩、同僚に有形無形の多くの支援を受けました。記して感謝します。

一九八二年九月

筆者

この辞典の 特色と 使い方

▽経済の基本的な必須用語一、〇〇〇余を厳選、収録△

激動する現代の経済社会、企業社会に生きるビジネスマンにとって、また社会人、学生にとって、必要不可欠な経済の必須用語一、〇〇〇余を厳選、収録。関連用語を含めると、全収容語数は約一、四〇〇語。

▽初心者にもわかる、わかりやすい用語解説。各章ごとの全体解説△

経済用語といえば、頭からむずかしいと決めてかかる人も多いだけに、用語の解説は初心者にもわかるように、あくまでもやさしく、またひと通りの知識を持つ人にも十分役立つよう配慮しました。なお、各章ごとに二～四頁の解説をつけ、その分野の経済のポイント、用語を取上げた背景や意図をわかりやすく説明しました。それによって、個々の用語のとらえ方がおわかり頂けると思われま

▽読みやすい事項別、一項目〓四～五語〓一頁、読切り式の用語配列△

通常の五十音順の辞典形式を排し、複雑多岐な経済用語を事項別に分類、整理して配列。しかも、一項目Ⅱ四〇六語Ⅱ一頁、読切り形式で配列してありますから、興味のある事項や関連用語が気軽に、能率的に読めます。また、特定の項目で関連的に知っていなければならない、知っていた方がよい用語が一目瞭然でわかりますから、勉強するうえで至便です。もちろん、通読すれば、自ずと経済の体系的な知識が得られるよう、用語の構成、配列を工夫してあります。

▽引く辞典として重宝な全収容語の索引備付△

索引には見出し語と、その関連用語（文章中に、ゴシック体で表示）を含めた全収容語約一、四〇〇語を五十音順に配列。項目別に見出し語を並べてある目次で、あなたの知りたい用語が見当らなかったときは、念のため、この索引を引いてみて下さい。なお、関連して見て頂きたい用語は、印で頁を明示するか、「前項参照」「前頁参照」などと注記してあります。

▽用語を通じて、経済がマスターできます△

この辞典によって、あなたはただ単に経済の用語に強くなるだけでなく、ビジネスマンであれば経済に対する洞察が深まり、日々の業務に対する新たな視点が得られ、学生諸君であれば経済や経営に対する理解が深まるはずです。すなわち、

景気指標、国際通貨体制、一般会計予算、産業構造といった事項の用語を通して読むことで、自然に、その内容についての全体的な理解が得られます。そのように、用語の構成、配列を工夫してあります。

▽国際化時代を反映した内容の辞典△

現代の日本経済の特質の一つは、「国際化時代の経済」といつてもいいのではないでしょうか。昭和48年、わが国は主要先進国とともに変動相場制に移行し、続いて昭和55年には為替取引が自由化され、国際化本番を迎えました。したがって、この辞典では国際経済の仕組みや貿易、国際収支、円レートなど、国際経済についての項目、用語の解説に頁を割いております。

▽座右の書に——引く辞典、読む辞典として△

もはや辞典は机上に積んどくものにあらず、日常疑問に思った用語を引いて確かめるのはむろんのこと、読む辞典としても活用したいものです。この辞典は、事項別、一項目一頁、読切り式ですから、どこからでも読み始められます。しかも、一章Ⅱ二〇項目（二〇頁）の一二章建てですから、かりに一日、四項目（四頁）ずつ読み進んだとしても、六〇日で読了です。そのとき、あなたは、経済について相当うるさい人になっているハズです。

1 景気と経済活動に関する用語



景気の定義	54	。景気循環 。ミニ・リセッション 。景気の山と谷 。オーバー・キル
景気指標	55	。景気指標 。先行指標 。景気動向指数 。景気警告指標
景気変動パターン	56	。景気波動 。キチン循環 。コンドラチエフ循環 。建設循環 。ジグラー循環
生産の変動	57	。生産指数 。工業統計表 。設備稼働率 。生産動態統計
経済活動のとらえ方	58	。ミクロ分析 。セミ・マクロ 。マクロ分析 。経済モデル
国民所得統計	59	。国民総生産 (GNP) 。国民総支出 (GNE) 。新 SNA 。国内総生産 (GDP)
国民所得の分配	60	。国民所得 (NI) 。雇用者所得・財産所得・企業所得 。三面等価の原則 。生産要素 。要素所得
名目と実質	61	。名目 GNP・実質 GNP 。実質経済成長率 。インプリシット・デフレター
個人消費	62	。個人消費支出 。消費性向 。可処分所得 。商業動態統計
住宅投資	63	。住宅投資 。住宅取得能力 。住宅着工統計 。総固定資本形成

設備投資	64	。民間設備投資 。誘発投資 。独立投資 。設備投資計画調査
在庫投資	65	。在庫投資 。在庫率 。意図した在庫投資・意図しない在庫投資 。在庫調整
經常海外余剰	66	。輸出と海外からの所得 。經常海外余剰 。輸入と海外への所得 。内需と外需
恐慌	67	。恐慌 。昭和恐慌 。世界恐慌 。金融恐慌
サーベイ調査	68	。サーベイ・データ 。企業短期経済観測 。ビジネス・サーベイ 。消費者サーベイ
経済予測	69	。経済予測 。計量モデル予測 。政府経済見通し 。段階的接近法
景気政策	70	。景気政策 。ストップ・アンド・ゴー政策 。総需要管理政策 。非裁量的景気政策
日本経済の歩み	71	。傾斜生産方式 。岩戸景気 。ドッジ・ライン 。四〇年不況
経済成長	72	。経済成長 。高度成長 。潜在成長率 。一人当り所得
経済計画	73	。経済計画 。国民所得倍增計画 。指示的計画 。ローリング・プラン

2 物価とインフレに関する用語



物価の測り方	76	- 物価指数 - パーシェ価格指数 - ラスパイレス価格指数 - フィッシャー価格指数
消費者物価	77	- 消費者物価指数 - 生計費指数 - 季節商品 - 全国指数・東京都区部指数
卸売物価	78	- 卸売物価指数 - 輸出入物価指数 - 工業製品価格 - 消費者物価と卸売物価の乖離
インフレーション	79	- 相対価格 - インフレーション - 一般物価水準 - 貨幣価値 - デフレ
インフレの型	80	- ハイパー・インフレーション - ギャロップینگ・インフレーション - クリーピング・インフレーション - 調整インフレ
需要インフレ	81	- デイマンド・プル・インフレ - 需要シフト・インフレ - ポトル・ネック・インフレ - 財政インフレ
コスト・インフレ	82	- コスト・プッシュ・インフレ - 生産性格差インフレ - 利潤インフレ - マーク・アップ率 - フル・コスト原理
輸入インフレ	83	- 輸入インフレ - 円安インフレ - 石油インフレ - ホーム・メイド・インフレ
需要インフレの原因	84	- 過剰流動性 - マネーサプライ・インフレ - インフレ・ギャップ - ストック・インフレ
物価と賃金の関係	85	- フィリップス曲線 - 賃金・物価の悪循環 - インフレ・スライド賃金 - トレード・オフ

スタグフレーション	86	。スタグフレーション 。貨幣錯覚 。フィリップス曲線のシフト 。スランプフレーション
経済の健康度	87	。経済パフォーマンズ 。インフレの社会学的要因 。不快指数 。経済活性化
不完全競争	88	。完全競争 。見えざる手 。独占 。参入障壁 。企業分割規定 。管理価格 。同調的値上げ 。ブライス・メカニズム
独占禁止法	89	。独占禁止法 。カルテル 。消費者米価 。公共料金の凍結 。生産者米価
公共料金	90	。公共料金 。価格バリエイ方式 。所得政策 。マンパワー政策
総合インフレ対策	91	。総合インフレ対策 。競争維持政策 。安定帯価格 。価格凍結マーク
個別インフレ対策	92	。個別インフレ対策 。緩衝在庫 。インデクセーション 。デノミネーション
インフレの中立化	93	。インフレの中立化 。インフレ・ヘッジ 。物不足インフレ 。地価対策
日本のインフレ	94	。狂乱物価 。新円切換え 。食糧インフレ 。世界インフレ
世界のインフレ	95	。賃金爆発 。インフレの輸出

☆解説／なぜ、インフレは起るのか、その対応策は74

3 貿易と国際収支、円レートに関する用語



外国貿易	98	。外国貿易 。貿易依存度 。貿易立国 。三国間貿易
貿易決済	99	。貿易決済 。輸出為替手形 。輸出競争力 。輸出構造 。輸出為替 。船荷証券 (B/L) 。輸出産業 。集中豪雨の輸出
輸 出	100	。輸出競争力 。輸出構造 。輸入構造 。並行輸入 。輸入割当制 。輸入限度ワク
輸 入	101	。通関統計 。輸出確認・輸入報告統計 。輸入報告統計 。輸出信用状統計 。FOB、CIF
貿易統計	102	。經常収支 。貿易外収支 。貿易収支 。移転収支
經常収支	103	。經常収支 。貿易外収支 。移転収支
資本収支	104	。資本収支 。短期資本収支 。長期資本収支 。基礎収支
国際収支	105	。総合収支 。外貨準備 。貿易手形優遇制度 。延払い輸出 。国際収支表 。対外短期ボジション
貿易金融	106	。貿易手形優遇制度 。延払い輸出 。輸入決済手形制度 。ユーザンス 。輸入はね金融
貿易・為替関連法	107	。外国為替及び外国貿易管理法 。輸出管理 。為替管理 。輸出貿易管理令 。新外為法

貿易・資本の自由化	108	◦貿易自由化 ◦自由化率 ◦資本自由化 ◦残存輸入制限 ◦自由化コード
貿易摩擦	109	◦貿易摩擦 ◦非関税障壁 ◦フリー・トレード、フェア・トレード ◦政府調達
貿易制限	110	◦エスケープ・クローズ ◦ダンピング関税 ◦輸入課徴金 ◦トリガー価格 ◦OMA
円レート	111	◦邦貨建て・外貨建て為替相場 ◦円高・円安 ◦直物・先物 ◦為替相場 ◦先物予約
円投機	112	◦自由円預金 ◦為替投機 ◦リーズ・アンド・ラガス ◦金利相場
為替相場安定策	113	◦為替平衡操作 ◦スワップ取引 ◦クリーン・フロート、ダーティ・フロート ◦アウトライト取引
円対策	114	◦円転換規制 ◦短資流入規制 ◦外貨貸制度 ◦外資流出規制
円高・円安	115	◦為替差益・差損 ◦円高御三家 ◦円高不況 ◦失業の輸出
国際収支と景気	116	◦輸出ドライブ ◦外需依存型景気 ◦国際収支天井 ◦輸出余力
国際収支構造	117	◦資源小国 ◦石油輸入依存度 ◦製品輸入比率 ◦国際収支構造

4 国際経済の仕組み、外国経済に関する用語



国際貿易の意義	120	- 貿易の利益 - 比較優位 - 完全特化・不完全特化 - 水平分業・垂直分業
国際貿易の型	121	- バーター貿易 - 保税加工貿易 - スウィッチ貿易 - 東西貿易 - 通過貿易
関税	122	- 関税 - 関税障壁 - ガット(GATT) - 従量税・従価税 - 関税一括引下げ交渉 - タリフ・エスケーション - 貿易ブレッヂ - 自由無差別の原則 - 協定税率・実行税率 - 貿易ブレッヂ - 最恵国待遇
国際貿易体制	123	
国際通貨体制	124	- 管理為替相場制 - 変動相場制 - ブレトンウッズ体制 - スミソニアン体制
国際流動性	125	- 国際流動性 - 基軸通貨 - 適正外貨準備 - 国際管理通貨 - 流動性ジレンマ
金本位制	126	- 金本位制 - 金現送点 - 金為替本位制 - 金廃貨
IMF体制	127	- IMF - IMFポジション - SDR - IMF代替勘定
欧州通貨制度	128	- 欧州通貨制度(EMS) - 共同フロート - 欧州通貨単位(ECU) - 欧州通貨基金(EMF)
国際金融市場	129	- 国際金融市場 - ユーロ・カレンシー市場 - オフショア・センター - タックス・ヘイブン - ユーロ・ポンド市場

国際資本移動	130	◦ 直接投資 ◦ オイル・ダラー ◦ 間接投資 ◦ アジア・ダラー
平価変更と国際収支	131	◦ 輸出の価格弾力性 ◦ 為替レートの国際収支調整効果 ◦ 輸入の価格弾力性 ◦ Jカーブ効果
為替レートの決定	132	◦ 外国為替の需給 ◦ 金利裁定 ◦ 購買力平価 ◦ オーバーシュート
アメリカ経済	133	◦ レーガノミックス ◦ FRB ◦ 予算教書 ◦ 新金融調整方式 ◦ 大統領経済報告
ヨーロッパ経済	134	◦ EC ◦ NATO ◦ 関税同盟 ◦ 英国病
太平洋経済圏	135	◦ 太平洋経済圏 ◦ ASEAN ◦ AFINICS ◦ ESCAP
共産圏	136	◦ コム(COCOM) ◦ ワルシャワ条約機構 ◦ コメコン(COMECON) ◦ 四つの近代化
南北問題	137	◦ 南北問題 ◦ 特惠 ◦ 新国際経済秩序 ◦ 輸入代替
経済協力	138	◦ ODA ◦ LDC・LLDC ◦ グラント・エレメント ◦ コンソーシアム
一次産品貿易	139	◦ ロメ協定 ◦ 国際商品協定 ◦ 国際緩衝在庫 ◦ STABEX

5 金融問題に関する用語

貨幣の機能	142	○支払手段 ○ペーパー・マネー ○価値尺度 ○貨幣・通貨 ○本位貨幣
通貨の種類	143	○日銀券 ○預金通貨 ○法貨 ○M1・M2
通貨の供給	144	○マネー・サプライ ○信用創造 ○本源的預金 ○最高発行額限度
通貨の需要	145	○流動性選好 ○取引動機 ○予備的動機 ○投機的動機 ○個人金融資産残高
資金の運用	146	○要求払預金 ○マネー・フロー表 ○定期性預金 ○資金の貸手・借手
資金の調達	147	○手形割引 ○単名貸し ○つなぎ融資 ○歩積み・両建て
直接金融と間接金融	148	○直接金融・間接金融 ○内部金融・外部金融
金融市場	149	○オーバー・ローン ○マネー・マーケット ○外国為替市場 ○資本市場 ○短資会社
マネー・マーケットの金融資産	150	○CD ○コール市場・手形売買市場 ○現先取引 ○コマースナル・ペーパー
日本銀行	151	○日本銀行 ○日銀政策委員会 ○日本銀行貸出 ○中央銀行

